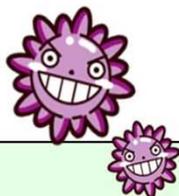


# 災害時の食中毒を防ぎましょう

浸水被害などのあった地域では、一時的に衛生環境が不良となり、食中毒等が発生しやすい状況になります！

食中毒予防の観点から、ご自宅及び避難所における食品の適切な取扱いに注意してください

## 食中毒対策項目



### 1. 食品・原料の受け入れ

- ①食品を受け入れる際は、消費(賞味)期限内か確認しましょう  
期限がすぎている場合や食品に異常がある場合は、返品するか思い切って捨てましょう！
- ②受け入れた食品は、誰が見てもわかるよう、段ボール箱の表などにわかりやすく品名や消費(賞味)期限を記入しましょう  
※食中毒菌がいるかは、見た目やにおいではわかりません！



### 2. 食品の取扱い

- ①調理をする場合は清潔に努め、できる限り衛生的な環境で、新鮮な、清潔な器具で調理しましょう
- ②生ものは避け、加熱したものを食べるようにしましょう
- ③調理したものは早めに食べるようにし、やむを得ず保管する場合は、再加熱をしっかりと行いましょう
- ④食品は、他から汚染を受けず、温度の上昇しない冷暗所に保管しましょう
- ⑤食品のある場所に、ペットなどの動物を近づけないようにしましょう
- ⑥屋外で食品を保管する場合は、直接地面に置かず、すのこ等を敷いてから置きましょう
- ⑦食品の配布の際にも消費(賞味)期限を確認しましょう
- ⑧異臭・変色等に気づいたら、配布は直ちに中止しましょう

### 3. 飲み水について

湧水や井戸水が水害等で被害にあった場合は、細菌による汚染などで水質が変化している可能性があります

- ①井戸水等は問題がないと確認されるまで飲まないようにしましょう
- ②市販のミネラルウォーター等を飲むようにし、やむを得ない場合は、必ず煮沸しましょう



### 4. 手洗いの励行

- ①調理前後、用便後、汚物の取扱い後は、流水と石けんで手を洗いましょう
- ②流水がない場合は、逆性石けん液を手にもみ込むようにして、その後乾燥させることである程度の効果が期待できます  
他にも消毒液がある場合は、それらを上手に活用しましょう  
また、手の爪を短く切っておくことも清潔保持に効果があります
- ③外出から帰ったときは、必ず手洗いを行いましょう



### 5. その他

- ①具合が悪くなった場合は、早めに医師に相談しましょう
- ②食物アレルギーのある方は、食事にアレルギーが含まれていないか確認しましょう



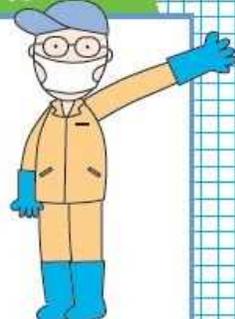
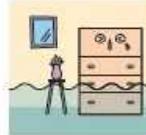
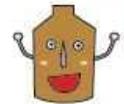
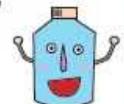
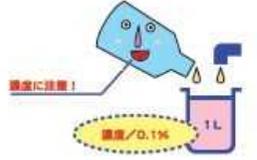
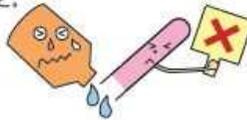
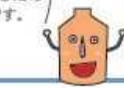
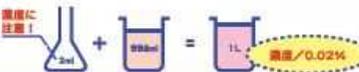
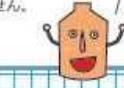
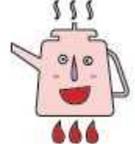
## お問い合わせ

大分県食品・生活衛生課 097-506-3056  
大分県南部保健所衛生課 0972-22-0562



# 水害時の消毒法



消毒対象	消毒薬	調整方法	使用方法	注意事項
<p><b>屋外</b></p> <p>(し尿槽や下水があふれた場所、動物の死骸や腐敗物が漂着した場所、氾濫した汚水が付着した壁面、乾燥しにくい床下)</p> 	<p>クレゾール石ケン液</p> 	<p>クレゾール石けん液30mlに水を加えて1リットルとする。 (液が濁っている場合には上澄み液を使う。)</p> 	<p>家屋の周りには、じょうろや噴霧器などで濡れるように撒く。 壁面は、泥などの汚れを水で落としてから、消毒液をひたした布などでよく拭く。 (または噴霧器を使う場合は、濡れる程度に噴霧する。)</p> 	 <p>取り扱う際には長袖、長ズボンを着用し、メガネ、マスク、ゴム手袋などを使用し皮膚や目にかからないように注意すること。</p>
<p><b>屋内</b></p> <p>(汚水に浸かった壁面や床、家財道具)</p> 	<p>オルソ剤 (バンソール等)</p> 	<p>オルソ剤20mlに水を加えて1リットルとする</p> 	<p>泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、うすめた液を浸した布などでよく拭く。 (又は噴霧器で噴霧する場合は、濡れる程度に噴霧する。その後は風通しをよくしそのまま乾燥させる。)</p> 	<p>皮膚についた場合には大量の水と石けんで良く洗い流す。目に入った場合は、水で15分以上洗い流し、医師の診察を受けること。</p>
<p><b>手指</b></p> <p>(後片づけなどで、汚染された箇所や土に触れた手指)</p> 	<p>塩化ベンザルコニウム逆性石けん (オスバン等)</p> 	<p>塩化ベンザルコニウムまたは塩化ベンゼトニウムとして0.1%の濃度になるようにうすめる。 (10%の製品の場合、本剤10mlに水を加え1リットルとする) いろいろな濃度のもので市販されているので、希釈倍率に注意する。</p> 	<p>汚れを石けんで洗った後、流水で石けんを落とし、洗面器などに入れた消毒液に手首まで浸し、30秒以上もみ洗いをする。 その後、乾いたタオルなどでよく拭き取る。石けんが残っていると殺菌力が低下するので、よく洗い流す。</p> 	<p>使用する直前に希釈し、希釈する濃度を守ること。</p> <p>他の消毒液や洗剤などと混合しないこと。</p> 
<p><b>食器類</b></p> 	<p>次亜塩素酸ナトリウム (ミルトン等) ハイターは界面活性剤が入っているためすすぎが必要です。</p> 	<p>10%製品を使用する場合は、本剤2mlに水を加えて1リットルとする。 (次亜塩素酸ナトリウムの濃度が0.02%になるように希釈する。)</p> 	<p>食器を水洗いした後、消毒液に5分以上浸し、自然乾燥させる。</p> 	<p>器に移して保管しないこと。</p> 
<p><b>井戸水</b></p> 	<p>次亜塩素酸ナトリウム (ミルトン) ハイターは界面活性剤等が入っているため飲料時には使いません。</p> 	<p>10%製品を使う場合は、水1リットルにつき1滴を加える。 (残留塩素として1~2ppmの濃度になるように調整する。)</p> 	<p>汚染された井戸水は水質検査で飲用可能になるまで飲まないほうが良い。やむを得ず使用する場合は、煮沸してから使う。 (どうしても、消毒薬を使う場合は、くみ取った水に1~2ppm濃度になるよう調整した消毒液を入れ、30分以上放置してから飲用する。)</p> 	<p>浄化微生物に影響を及ぼすので、浄化槽には散布しないこと。</p>